

伝統とモダンが交差する まちの文化祭
神楽坂まち飛びフェスタ 2011

参加企画募集のお知らせ

参加要項・参加申込書

2011年4月

神楽坂まち飛び実行委員会

公式ウェブサイト：<http://machitobi.net/>

このたびこの度の東北・関東大震災に被災された皆様には、心よりお見舞申し上げます。さまざまな復興への活動が広がる中で、私たちとしては、神楽坂を元気にするために、神楽坂まち飛びフェスタを例年通り開催いたします。

2011年10月15日（土）～11月3日（木・祝）の期間、神楽坂界限全域で開催する“神楽坂まち飛びフェスタ2011”への参加企画（イベント）を募集しています。

参加応募締切りは、5月31日（火）（厳守）です

☆ 毘沙門天善國寺書院は、

10月15日（土）13時～17時、

10月16日（日）12時～17時は使用できません。

☆ 赤城神社を利用予定の企画は、別途ご相談ください（実行委員長宛て Eメールにて）。

■ 最後に添付した「参加申込書」に、本参加要項をお読みいただき、すべてについて「確認・同意」した旨のサインをお願いする欄があります。ここにサインをした上での、参加申込書のご提出をお願い申し上げます。

■ 約2週間の会期中、毎日神楽坂のどこかでなにかイベントが開催されている楽しいフェスタになりますように、多くの皆様のご参加を実行委員一同心よりお待ちしております。

問い合わせ先：神楽坂まち飛び実行委員会

実行委員長 日置 圭子 e-mail: info@machitobi.net

〒162-0834

東京都新宿区北町2番地サンライズ牛込台105号

神楽坂まち飛びフェスタ実行委員会

（お問い合わせは、原則 Eメールにてお願いします）

神楽坂まち飛びフェスタ といは

伝統とモダンが交差する、まちの文化祭 神楽坂まち飛びフェスタ2011

2011年10月15日(土)～11月3日(木・祝)の約2週間にわたり、
神楽坂界限において神楽坂まち飛びフェスタ2011を開催します。

- まち飛びフェスタの原点と変遷

「神楽坂まち飛びフェスタ」は、1999年7月に開催された「アートがまちに飛び出していき、まち全体がアートスペースになる企画～まちに飛び出した美術館」を前身とし、その後神楽坂ゆかりの様々なイベントを加えて発展継承され、今年で13回目を迎えることになりました。

- 神楽坂に満ちた“豊富な時間”をつなげたい

戦災で壊滅的被害を受けた神楽坂には、目に見える名所旧跡はありません。しかし、1500年代半ば、牛込氏が居城を築いて以来の“時間”がいたるところに息づいています。この神楽坂の“豊富な時間”こそが神楽坂の財産であり、これを生かし未来につなげたい—そんな思いが、神楽坂まち飛びフェスタにはこめられています。

2004年からは、「伝統とモダンが交差する、まちの文化祭」というサブタイトルをつけました。これにより、日頃から神楽坂において発信されている、魅力溢れる“アートと文化”、そして、それを担う人々を1年に1度集結させた、まさに“秋の神楽坂文化祭”という雰囲気が高まりました。

- 注目される今だからこそ

メディアにも注目され、東京でも有数の“人気のまち”となりつつある神楽坂、しかし、こうして神楽坂が注目されている今だからこそ、原点に戻ることが大事だと考えています。

「明治から現在まで、常に伝統的なものからモダンなものまでが幅広く交差して賑わい、独自のバランス感覚で分布してきた魅力あふれる文化発信のまち・神楽坂」

この考えを再確認して、この“豊富な時間＝本当にわたしたちが受け継ぎたい神楽坂らしさ”を次代に伝えたいと思っています。神楽坂の魅了と財産を明日につなげるために、今年も新たな気持ちで“神楽坂まち飛びフェスタ2011”を企画・開催いたします。

2011年4月

参加基準

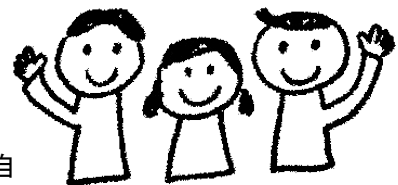
- ◆ 参加企画の募集にあたっては、以下のような「参加基準」を設けましたので、ご確認ください（疑問点等がある場合は、実行委員会に個別にお問い合わせ下さい）。
- ◆ 参加の可否については、実行委員会が最終判断をいたします。

◆「神楽坂まち飛びフェスタ2011」参加基準◆

- 1、神楽坂の文化・芸能の振興をはかることを目的とした当会（神楽坂まち飛び実行委員会を指す）の趣旨を理解し、当会と協力関係をもてる団体・個人であること。
- 2、イベントの開催場所が、原則、当会が考える神楽坂エリア内（具体的には、2010年度公式パンフレットの地図上に記載が可能な地域）にあること。
- 3、イベントの開催期間が、2011年度の当会が決めた開催期間内に予定されていること。
- 4、以下の場合、参加を辞退してもらうことがある。
 - ア、個人的な売名行為や営利目的のみを優先させている団体・個人が主催するイベント。
 - イ、特定の政治・宗教団体が主催するイベント。
 - ウ、神楽坂の公序良俗に反する団体・個人が主催するイベント。
 - エ、その他、神楽坂まち飛びフェスタの趣旨に適さない内容や行為を行う団体・個人と当会が判断した場合。

以上

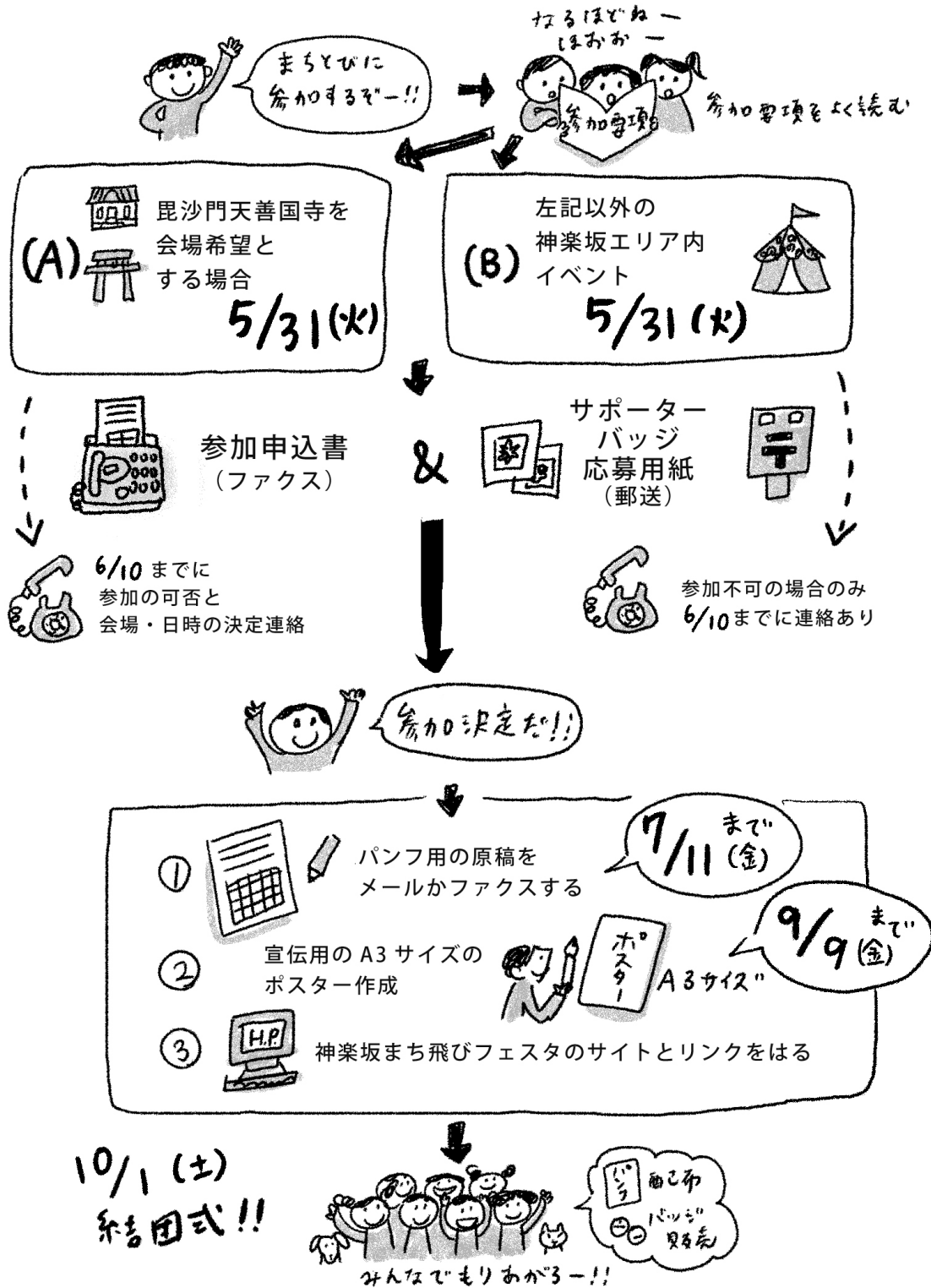
実行委員会の役割



- 1 神楽坂まち飛びフェスタへの参加は、各参加団体・個人の「自主企画」とし、実行委員会はボランティア運営でそれらを取りまとめる役割を担っております。したがって、実行委員会から各参加団体・個人に対して、金銭的援助や人材の援助はできかねますことをご了承ください。
- 2 各参加企画に対する実行委員会の主な役割は、次の情報発信・広報です。
 - ① 参加企画は、実行委員会制作の「公式プログラム」「神楽坂まち飛びフェスタ公式ウェブサイト」等に掲載して情報発信・広報を行います。
 - ② 各参加企画が独自に作成したポスターを、毘沙門天前の掲示板やJR飯田橋駅（予定）など神楽坂界隈の数カ所に、実行委員会で一斉掲示します（掲示場所は実行委員会に一任ください）。
- 3 その他、神楽坂まち飛びフェスタ参加に関する不明点・疑問点等については随時、実行委員が相談に乗りながら、神楽坂まち飛びフェスタに向けての準備を進めていくように致します。
- 4 参加企画実施に際しては、騒音などのトラブルが生じないようにくれぐれもご注意ください。

万一トラブルになった場合は、当実行委員会では一切関知いたしませんので、各参加団体・個人で対処していただくようお願いいたします。

神楽坂まち飛びフェスタ 参加の流れ



参加にあたってのお願い

1. 参加申込書の提出（FAX：03-6426-1729 神楽坂まち飛び実行委員会宛）
毘沙門天善国寺境内・書院利用の場合・・・参加申込書（A）5月31日（火）締切り
参加決定・・・6月10日（金）までに、参加の可否と、会場・日時の連絡があります。
決定後、下記利用料を、お支払いください（詳細は後日ご連絡します）。
＜境内＞ 参加費が有料のイベント、物品を販売するイベントは、1日2,000円。また、水道・電気等を利用する場合は、別途1,000円お支払いいただきます。
＜書院＞ 9時～13時、13時～17時、17時～21時の4時間毎25,000円
準備、後片付け時間を含みます。延長は、1時間5,000円
（参加決定後、毘沙門天善国寺へ、直接お支払いください）
上記以外のイベントの場合・・・参加申込書（B）5月31日（火）締切り
参加不可の場合のみ、6月10日（金）までにご連絡いたします。
2. パンフレット原稿提出
7月11日（月）までに、EメールまたはFAXにてご提出ください。
パンフレット原稿については、参加決定後、詳細をご連絡いたします。
3. 結団式への参加 10月1日（土）予定 詳細は、後日ご連絡いたします。
4. ポスター提出
・ 掲出用のポスター等をご提出ください。【A3縦サイズ・4枚】（掲示用＋実行委員会保存用）
・ ポスターには、原則として「神楽坂まち飛びフェスタ 2011」、または、神楽坂まち飛びフェスタ公式マークを入れて下さい。（公式マークは8月上旬に決定後、ご希望の方にデータでお送りします。詳細は後日）
・ 提出期限【9月9日】 提出場所【サザンカンパニー（担当：長岡）】（詳細は後日）
5. 参加企画が、個別に行なう広報（ポスター、チラシ、ウェブサイト、プレスリリース等）に、原則として「神楽坂まち飛びフェスタ2011」、または、公式マークを入れてください。
6. 神楽坂まち飛びフェスタ公式ホームページへのリンク（URLは表紙参照）をお願いします。
7. 公式パンフレットの配布ご協力（9月末ごろ納品予定）
ただし、パンフレット制作部数に限りがありますので、配布協力をお願いする部数についても制限がありますことをご了承下さい。
8. 「サポーターバッジ」の購入＆特典付与のお願い
神楽坂まち飛びフェスタ支援、参加表明としてサポーターバッジを購入（1口2,000円；バッジ5個）していただくこととなりました。次頁のサポーターバッジの趣旨をご理解の上、ご購入をお願いいたします。バッジ購入方法は後日お知らせいたします。
また、サポーターバッジ購入者が、サポーターとしてできるだけ多くの特典をうけられるよう、特典付与（例：入場料割引、来場者へのプレゼント等）にご協力ください。
9. サポーターバッジデザインコンテスト応募のお願い

参加イベントの方も、是非、応募してください。詳細は、まち飛びフェスタ公式ホームページにてご確認ください。 <http://machitobi.net/>

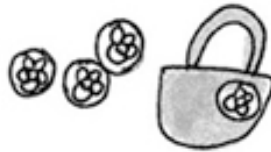


サポ-ター-バッジって何？

毎年違ったデザインでつくります。
その年のまちとびのシンボルイメージのようなものです。
まちとび全体を盛り上げるバッジです。



パンフレットの表紙



沢山の人がつけます



WEB サイトでも活躍！



実は、公式パンフレットの作成費など、フェスタの運営資金は、
全て、企業・団体・個人からの協賛金と、
このバッジの売り上げによる支援金でまかなわれています。

**バッジの売り上げは、
まちとびの運営資金になります。**

バッジを購入してくれた人は、まちとびを支えてくれる
大事なサポーター（支援者）です。ありがとうございます。
ぜひ、イベント参加者はまちとび支援のために、バッジ購入をお願い致します。
また、バッジ特典での協力をお願いします。



サポ-ター-バッジってどうやって決めるの？

バッジのデザインは公募して、毎年コンペをして決めています。

イベント参加者が応募した作品がバッジに選ばれたら、イベントの宣伝にもなります。
詳しくは次頁の応募要項を参照ください。
お友達や興味のある人にもどんどん、まちとびの宣伝もかねて、お知らせしてください。

審査委員長は世界的に有名なグラフィックデザイナーのU.G.サトーさんです。
この機会に、彼に自分の作品をみてもらいませんか？

U.G.サトーさん略歴

東京・神楽坂生まれ。1972年に個展「私の進化論」を開催。それ以降、国内外で数多くの個展を開催するほか、その作品は世界各国の展覧会で高く評価されている。

著書に「U.G.サトーとイラストレーション」（美術出版社）、「しまうまのさんぽ」（福音館書店）などがある。

AGI、日本グラフィックデザイナー協会、東京イラストレーションズ・ソサエティ会員。

<http://www.kt.rim.or.jp/~ugsato/>